

珍しい交響曲 イギリス Minor Symphonies UK

作曲家	生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル	
Cipriani Potter	ポッター	1792-1871	9	交響曲第1番(1819)	☆☆☆☆	第1楽章の短調のムードは聴き映えがします。		555 274-2	cpo
				交響曲第7番(1826)	×	何も印象に残りません。		CLASSCD634	CLASSCD
William sterndale Bennett	ベネット	1816-1875	5	交響曲第5番(1864)	☆☆☆☆	第1楽章の冒頭は魅力的ですが、以降は特に優れた点なし。メンデルスゾーンの雰囲気濃厚です。		CLASSCD634	CLASSCD
Charles Hubert Parry	パリー	1848-1918	5	交響曲第1番(1882)	※※	第1楽章にはイギリスの感じがあります。		CHAN 9120-22 交響曲全集	CHANDOS
				交響曲第2番(1883) 副題"ケンブリッジ"	※※	副題のような、イギリス風な感じは若干します。	○		
				交響曲第3番(1889) 副題"イギリス"	★★★★★	副題の通り、イギリスの気品を感じさせる曲です。	○		
				交響曲第4番(1889)	★★★★★	豊かな響きにあふれています。	○		
				交響曲第5番(1912)	※※	あまり魅力的ではない。			
Charles Villiers Stanford	スタンフォード	1852-1924	7	交響曲第2番(1882) 副題"挽歌"	×	平凡です		8.570289	NAXOS
				交響曲第3番(1887) 副題"アイルランド風に"	☆☆☆☆	第3楽章にはブラームスの交響曲第4番の第2楽章冒頭と同じ音型が登場しています。第4楽章には民謡風の旋律が現れます。	○	8.570355	NAXOS
				交響曲第5番(1895)	×	平凡		8.570289	NAXOS
				交響曲第6番(1905)	☆☆☆☆	ゆっくりした第2楽章は特に聴きごたえがあります。		CHAN 8627	CHANDOS
Frederic Hymen Cowen	カウエン	1852-1935	6	交響曲第5番(1887)	※※	第1, 4楽章には聞ける部分もあります。		CD0047	EM Records
Edward Elger	エルガー	1857-1934	2	交響曲第1番(1908)	★★★★★	4楽章で50分。"ノーブルに"という発想記号がぴったりの格調高い曲です。	○	CRCB-6031	NIPPON CROWN

Edward German	ジャーマン	1862-1936	2	交響曲第1番(1890)	☆☆☆☆	劇音楽の分野で活躍した作曲家らしい、劇的な部分が多くあります。		CDLX 7156	DUTTON
				交響曲第2番(1893)	☆☆☆☆	劇音楽の分野で活躍した作曲家らしい、劇的な部分が多くあります。かなり通俗的な部分もあります。	○	8.223726	NAXOS
Granville Bantock	バントック	1868-1946	4	ヘブリディーズ交響曲(1915)	☆☆☆☆	スコットランドの旋律などが聴かれます。		8.555743	NAXOS
				異教の交響曲(1928)	※※	異教とはギリシャ神話のこと。単一楽章で6部分からなります。		COV 92017	Coviello
Ralph Vaughan-Williams	ヴォーン・ウィリアムズ	1872-1958	9	海の交響曲(1910)	★★★★★	合唱、独唱を伴います。豊かな旋律にあふれています。	○	CHAN 9087-91 交響曲全集	CHANDOS
				ロンドン交響曲(1913)	★★★★★	ノスタルジックなムードが味わえます。響きの移り変わりがとても気持ち良いです。	○		CHANDOS
				田園交響曲(1921)	★★★★★	タイトル通りのイギリスの美しい田園風景が思い浮かぶ曲です。	○		CHANDOS
				交響曲第4番(1935)	☆☆☆☆	1番から3番までとは違って変わった不協和音に満ちた荒々しい音楽です。	○		CHANDOS
				交響曲第5番(1943)	★★★★★	第2次世界大戦の最中に書かれたとはとうてい思えない、おだやかさに満ちた曲です。特に第3楽章はとても美しいです。	○		CHANDOS
				交響曲第6番(1947)	※※	第4番と似た荒々しい音楽で始まります。テナーサクスが登場します。最後は静かに終わります。			CHANDOS
				南極交響曲(1952)	×	南極探検家のスコットを描いた映画音楽をもとにした作品。ウィンドマシーン(風の音を出す装置)や女声も登場します。			CHANDOS
				交響曲第8番(1955)	※※	軽い作品。ベートーベンの第8番と似たような位置づけでしょうか。	○		CHANDOS
				交響曲第9番(1958)	×	亡くなる86歳での作品。			CHANDOS
Gustav Holst	ホルスト	1874-1934	1	コッツウォルド交響曲(1900)	※※	第4楽章は聞きごたえがありますが、それ以外は平凡です。		8.572914	NAXOS
Rutland Boughton	ボートン	1876-1960	3	交響曲第3番(1937)	※※	映画音楽の分野で活躍した作曲家らしい、劇的な部分が多くあります。		CDH55019	Hyperion

Havergal Brian	ブライアン	1876-1972	32	交響曲第1番「ゴシック」 (1919-1927)	※※	巨大な編成(オーケストラ、木管32人、金管24人、打楽器17人など、4人の独唱、二重合唱)を要し、演奏時間114分。第1部(1, 2, 3楽章 59分)はオーケストラのみ。第2部(4, 5, 6楽章 55分)に歌が入ります。第6楽章には聞きやすい旋律が登場しますが、そこまでは退屈です。		8557418-19(中古)	Naxos
				交響曲 第7番(1948)	☆☆☆☆	親しめる部分が多くあります。		7243 5 75782 2 6	EMI
				交響曲 第8番(1949)	☆☆☆☆	単一楽章。大変風変わりで、いろいろな風景が登場します。			
				交響曲 第9番(1951)	×	最後は大いに盛り上がりますが、そこまでは散漫です。			
				交響曲 第31番(1968)	※※	13分の短い曲。			
Josef Charles Holbrooke	ホルブルック	1878-1958	3	交響曲第3番(1925) 船	※※	第2楽章ではアルトサクソフォーンが活躍します。第3楽章には民謡風の旋律が登場します。		555 041-2	cpo
Cyril Scott	スコット	1879-1970	4	交響曲第1番(1900)	☆☆☆☆	5楽章。全体的にイギリスの田園風の音楽。第4楽章は民謡風の親しみやすい旋律。		CHAN 10452	CHANDOS
				交響曲第4番(1952)	※※	第1, 2, 4楽章は明確な旋律やリズムのない瞑想的な雰囲気です。スケルツォの第3楽章は15/8拍子とのこと。		CHAN 10376	CHANDOS
Arnold Bax	バックス	1883-1953	7	交響曲第1番(1922)	※※	複雑すぎて楽しめません。	○		CHANDOS
				交響曲第2番(1925)	☆☆☆☆	とても豪華な音がします。			CHANDOS
				交響曲第3番(1929)	★★★★★	聞き込むほど味わい深くなります。	○		CHANDOS
				交響曲第4番(1931)	★★★★★	聞き込むほど味わい深くなります。		CHAN8312	CHANDOS
				交響曲第5番(1934)	★★★★★	アイルランドの暗い風景を思わせる音楽です。第3楽章最後の長和音が大変印象的です。	○		CHANDOS
				交響曲第6番(1934)	☆☆☆☆	やや俗っぽくなっています。第3楽章にはハリウッドの映画音楽に似た雰囲気があります。	○		CHANDOS
				交響曲第7番(1939)	☆☆☆☆	特に1楽章ははです。			CHANDOS

George Dyson	ダイソン	1883-1964	1	交響曲ト長調(1937)	※※	イギリス風な感じはありません。第1, 2楽章は地味な感じ。第3, 4楽章は聞き映えがする箇所があります。		8.55772	NAXOS
Ernest John Moeran	モーラン	1894-1950	2	交響曲ト短調(1937)	☆☆☆☆	時に聴き映えのする箇所があります。		8.555837	NAXOS
Gordon Jacob	ジェイコブ	1895-1984	2	交響曲第1番(1929)	※※	管楽器や打楽器が活躍し吹奏楽風の部分が多いです。		SRCD.315	Lyrta
				交響曲第2番(1945)	※※	同上		SRCD.315	Lyrta
Edmund Rubbra	ラップラ	1901-1986	11	交響曲 第9番(1972)	☆☆☆☆	合唱、独唱を伴うオラトリオ形式の曲。		CHAN 9441	CHANDOS
William Walton	ウォルトン	1902-1983	2	交響曲第1番(1935)	☆☆☆☆	個性的な響きや音型にあふれています。	○	CRCB-6068	日本クラウン
Alan Rawsthorne	ローズソーン	1905-1971	3	交響曲第1番((1950)	×	現代音楽っぽく親しめません。		8.55748	NAXOS
				交響曲第2番((1959)	×	現代音楽っぽく親しめません。			
				交響曲第3番((1964)	×	現代音楽っぽく親しめません。			
William Alwyn	オルウィン	1905-1985	5	交響曲第1番((1949)	※※	映画音楽っぽい		SRCD227	Lyrta
				交響曲第3番((1956)	※※	第3楽章にはホルストの火星似の部分があります。		8.557648	NAXOS
				交響曲第4番(1959)	※※	かなり俗っぽい感じですが。		SRCD227	Lyrta
Michael Kemp Tippett	ティペット	1905-1998	4	交響曲第1番(1945)	☆☆☆☆	何を言いたいのか分からない音楽ですが、オーケストラは良く鳴っています。		CDA68203	Hyperion
				交響曲第2番(1957)	☆☆☆☆	第2楽章のトランペットのソロは印象的です。ピアノも入ります。			
				交響曲第4番(1977)	※※	現代音楽ですが、よく鳴ります。		LPです。 L28C-1290	LONDON
Benjamin Frankel	フランケル	1906-1973	8	交響曲第1番(1958)	☆☆☆☆	すべての交響曲が12音技法に基づいていますが、特に変には聞こえません。3楽章で26分。オーケストラも良く鳴り、聞き映えがします。		999661 交響曲全集	cpo
				交響曲第2番(1962)	☆☆☆☆	3楽章で36分。いろいろな場面が登場して面白く聞けます。			
				交響曲第3番(1964)	☆☆☆☆	単一楽章で18分。聴きやすい曲です。			
				交響曲第4番(1966)	☆☆☆☆	3楽章で25分。聴き映えがします。			

				交響曲第5番(1967)	☆☆☆☆	3楽章で18分。聴き映えのする部分もあります。		
				交響曲第6番(1969)	☆☆☆☆	5楽章で29分。気持ちよく聞ける部分もあります。		
				交響曲第7番(1970)	☆☆☆☆	4楽章で28分。面白く聞けます。		
				交響曲第8番(1971)	☆☆☆☆	4楽章で24分。面白く聞けます。		
William Brocklesby Wordsworth	ワーズワース	1908-1988	8	交響曲第7番(1970) コスモス テープ付き	※※	18-19世紀の有名な詩人ワーズワースとは親戚のようです。7つの部分からなる単一楽章で24分。いろいろな楽器のソロがのっぺりと続きます。	TOCC 0618	TOCCATA
John Gardner	ガードナー	1917-2011	3	交響曲第1番(1947)	×	特に聴くべき部分無し。	8.570406	NAXOS
Robert Simpson	シンプソン	1921-1997	11	交響曲第2番(1956)	☆☆☆☆	作曲された年の割にはオーケストラが良くなる曲で、変化に富んでいます。	CDA66505	hyperion
				交響曲第4番(1970)	☆☆☆☆	作曲された年の割にはオーケストラが良くなる曲で、変化に富んでいます。		
Ruth Gipps	ギップス	1921-1999	5	交響曲第2番(1945)	☆☆☆☆	単一楽章で8つの部分から成ります。イギリス民謡風の旋律も登場。気持ちよく聞けます。	CHAN 20078	CHANDOS
				交響曲第3番(1965)	☆☆☆☆	女性作曲家。作曲年によらずオーケストラが良く鳴り、聞き映えがする箇所がたくさんあります。	CHAN 20161	CHANDOS
				交響曲第4番(1972)	☆☆☆☆	20世紀の初めのころの曲に聞こえます。聴きどころがたくさんあります。	CHAN 20078	CHANDOS
Malcom Henry Arnold	アーノルド	1921-2006	9	交響曲第1番(1949)	×	現代音楽っぽく親しめません。	0946 3 82146 2 5 アーノルド自身の指揮によるCD.	EMI
				交響曲第2番(1953)	※※	金管や打楽器がはでに鳴り、ほとんど吹奏楽曲です。第3楽章はアメリカ音楽のような陽気さです。		
				交響曲第5番(1961)	×	金管や打楽器がはでに鳴り、ほとんど吹奏楽曲です。		
				交響曲第2番(2014)	☆☆☆☆	ナイマンに交響曲があることにまずびっくり。映画音楽や歌曲がベースになっているとのこと。演奏時間28分。弦楽のゆっくりした部分や民俗音楽的な部分などいろいろなナイマンが楽しめます。最後はナイマンらしくなく、しっかりした長い音で終わります。	MNRCD134	MN Records

Mickael Nyman	ナイマン	1944-	12	交響曲第5番(2013)	☆☆☆☆	映画音楽や弦楽四重奏がベースになっているとのこと。演奏時間20分。中身はいつものナイマン節。第4楽章はMGVに似た音型も聞かれ、楽しくにぎやかに終わります。		
				交響曲第11番(2014) 副題:ヒルズボロ メモリアル	★★★★★	ソプラノ独唱と少年合唱付き。原曲は1985年にできていましたが、1989年のヒルズボロの悲劇(サッカー場での観客の死傷事故)を受けて改訂され、2014年に初演されたとのこと。演奏時間40分。4つの楽章ともゆっくりした曲。第4楽章ではじめて刻みのリズムが入りますが、落ち着いたリズムです。	MNRCD136	MN Records
James MacMillan	マクミラン	1959-	3	交響曲第3番(2002)	※※	遠藤周作の"沈黙"に基づく曲。日本風のフレーズが多く登場します。	CHAN 10275	CHANDOS

o.m.